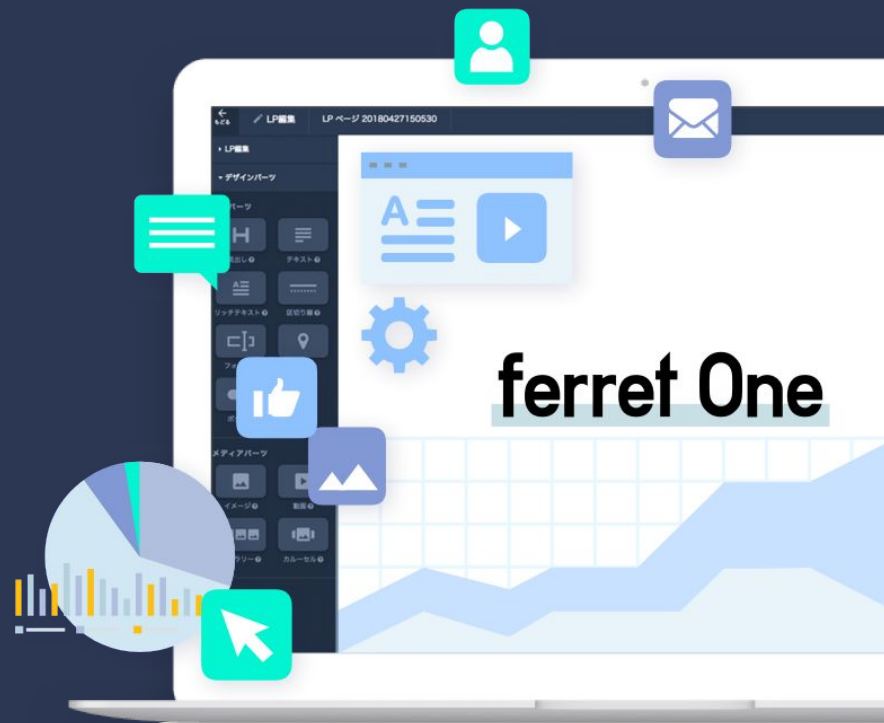
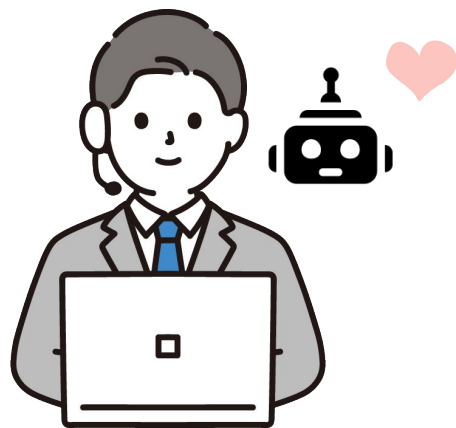


AIアシスタント簡単ガイド



AIアシスタントとは？

ferretOne AIは、 忙しくて大変なあなたの専任アシスタントです



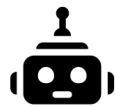
- 時間のかかる作業をあっというまにやってくれる
- アイディアをくれる
- 確認をしてくれる

＼しかも文句ひとつ言わずに、いつでも！／

**専任アシスタントがいれば、マーケティング業務は
圧倒的に効率化 かつ 少ない人数で成果を出せます！**



業界や商材に詳しいあなた



AIアシスタント



最高のコンテンツを、効率よく生み出せる

これまで

持っている情報はとてもいいのにコンテンツにするにはパワーがかかる…

業界や商材に詳しいあなた



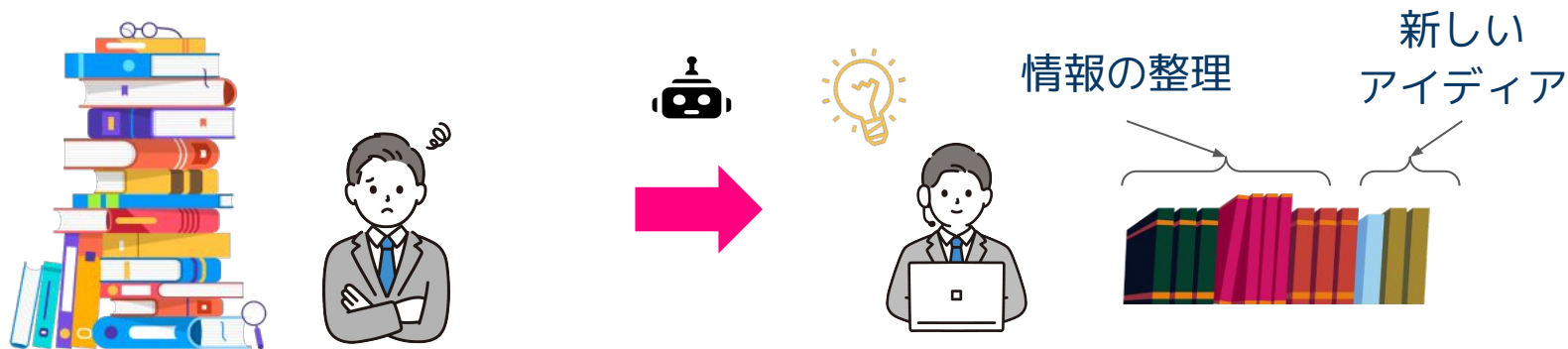
足りていないもの



整理してコンテンツにする

書くためのコツやお作法

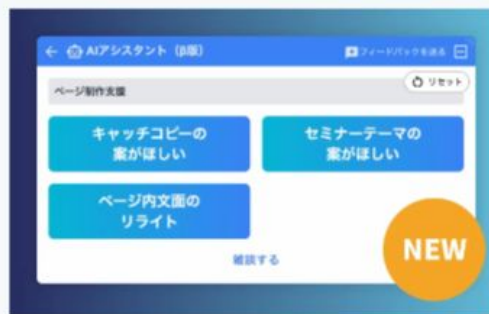
AIアシスタントがお助け！



**情報の整理やアイデアをもらう部分はAIにまかせ、
業界・サービスに詳しいあなただからこそ有益なコンテンツに調理可能！**

AIアシスタントでできること

コンテンツ作成を劇的に効率化する AIアシスタント機能



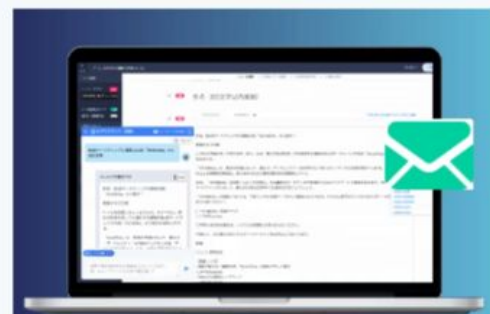
ページ制作支援機能

AIがキャッチコピーの案出しや、セミナーのテーマの案出し、ページ内の文面のリライトなどをしてくれる機能です。



ブログ記事制作支援

ブログ記事のネタを提供したり、テーマから記事を作成したり、記事を要約してリード文を作成したり、文章の添削をしてくれます。



メール作成支援機能

どんな顧客にどんなメルマガを配信すべきか『ChatGPT』に相談できる機能。メール文面の作成や添削を支援します。

ページ制作支援機能

課題と解決策

課題 1

キャッチコピーが 思いつかない

顧客の興味を引くキャッチコピーを考えたいけど、いつもありきたりなキャッチコピーになってしまう。

解決策 1

パッと目を引く キャッチコピー案を提案

仮案や特徴を伝えるだけで、キャッチコピー案をAIが提案。候補から選ぶだけ。良い壁打ち相手になってくれます。

課題 2

文章を綺麗に作成するのが 時間がかかる

誤字脱字のチェックや、文脈がおかしくないかなどチェックしてからの入稿となると時間がかかる。

解決策 2

ざっくり書いた文章を 綺麗に修正してくれる

既に書いた文面をリライトしてくれるので、ざっくり書いても綺麗な文章に整えてくれます。

課題 3

セミナーをやりたいが、 何のセミナーをしようか迷う

なんとなく、やりたいテーマは決まっているものの内容やターゲットについて案が欲しいが壁打ち相手がいない。

解決策 3

セミナーの内容やターゲット まで案を出してくれる

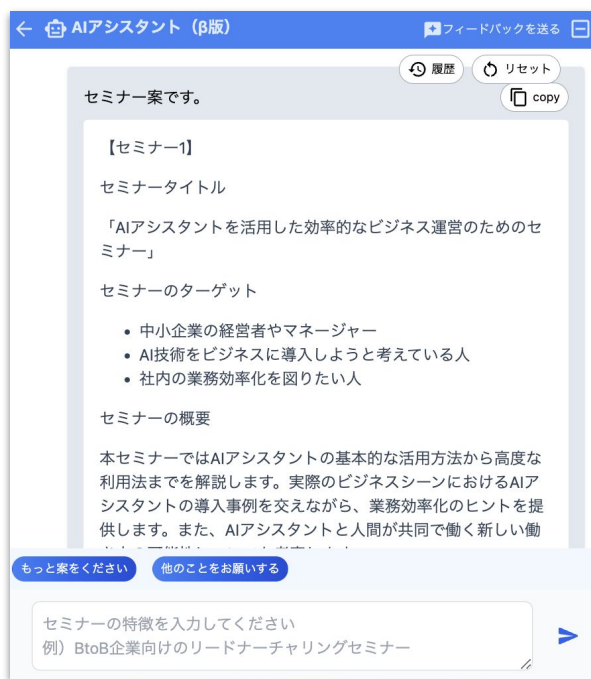
タイトル、ターゲット、概要とセミナーの案を出してくれるため、良いテーマがあればそのままセミナーページまでできちゃいます。

こんなことができます

タスクを選択



テーマを渡して セミナーの案をもらう



企画案の提出

セミナー案1

セミナー案2

セミナー案3

自分のアレンジを加えて提出できます！

具体的な活用例

1. 企画したいセミナーの特徴をAIにリクエスト（「セミナーテーマの案が欲しい」を利用）（2分）
↓
2. セミナーの特徴をAIアシスタントに投げる（2分）
↓
3. セミナー案をcopyしてドキュメントに貼り付け（「Copy」をクリック）（2分）
↓
4. 作成されたセミナー案もとに社内でディスカッション（30分）
↓
5. 決定したセミナー案を元にページを作成（15分）
↓
6. ページに入れる文章を添削（「ページ内文面のリライト」を利用）（5分）
↓
7. セミナーのキャッチコピーを考える（「キャッチコピーの案が欲しい」を利用）（3分）
↓
8. 必要に応じて画像を追加して公開（2分）

ブログ支援機能

課題と解決策

課題 1

記事を書きたいが、
何を書けば良いかわからない

SEOのために記事を書きたいが、
何をテーマに扱えば良いか悩んでしまう。

解決策 1

AIアシスタントが
テーマの案をくれる

どんなテーマを書けば良いのかの提案を
くれるので、自分では思いつかなかった
アイデアも瞬時に提供してくれます

課題 2

記事を書きたいが
ライティングに自信がない

テーマは決まったものの、どんな構成で
どのような言い回しで書けば良いかわ
からない。

解決策 2

要約やアウトラインの
作成まで行ってくれる

要約して導入文を作成したり、アウトラ
インの作成まで行ってくれるので、出来上
がった文章を元にして作成することが可能
です。

課題 3

記事を書いてみたが
添削に時間がかかる

誤字脱字のチェックや、文脈がおかしく
ないかなどチェックしてからの入稿とな
ると時間がかかる

解決策 3

書いた記事を細部まで
しっかりと、瞬時に添削

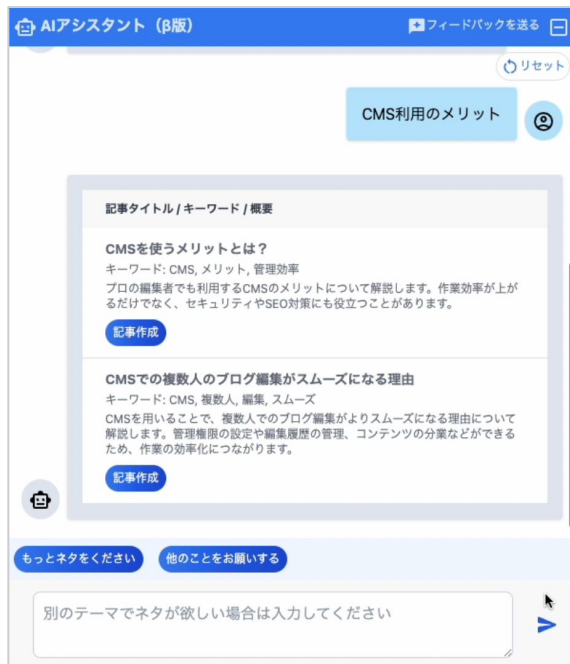
既に書いた記事の添削を行ってくれるの
で、見直す時間が大幅に短縮されます。
また、人の目では見過ごされがちな箇所
もAIは見逃しません。

こんなことができます

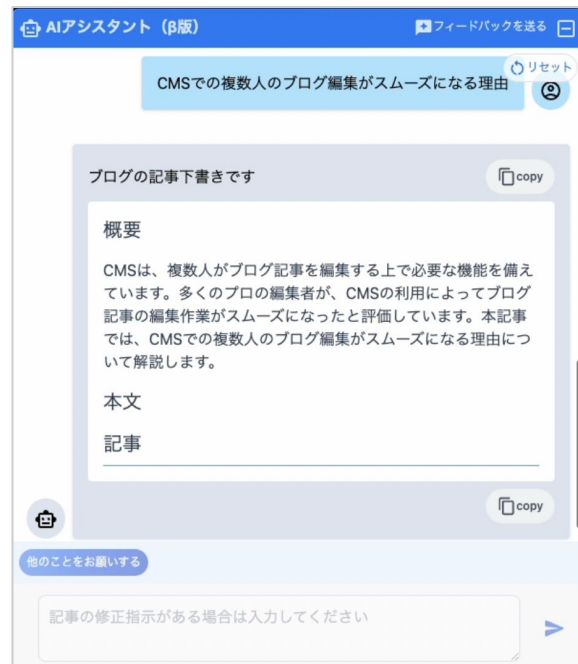
タスクを選択



テーマを渡して ネタをもらう



ネタから 記事を書いてもらう



おすすめの活用方法

	ご利用シーン	現状業務の課題（想定）	利用するAIアシスタントの機能
1	キーワードを検討する	<ul style="list-style-type: none">・どんなキーワードを設定するべきか・顧客の課題を洗い出したい	<ul style="list-style-type: none">・雑談する<ul style="list-style-type: none">↳顧客の課題がなにかを聞く↳その課題についてのKWは何か聞く
2	記事のネタを検討する	<ul style="list-style-type: none">・どんな記事を書こうか悩む	<ul style="list-style-type: none">・記事のネタをもらう<ul style="list-style-type: none">↳上記で絞ったKWを与えてネタをもらう
3	記事を書いてもらう	<ul style="list-style-type: none">・記事の構成やライティングに悩む	<ul style="list-style-type: none">・記事を書いてもらう・添削してもらう・タイトル案をもらう<ul style="list-style-type: none">↳ネタをもとに記事を書いてもらう↳さらに各見出しでの記事を書く↳適当な日本語で書いた上で添削↳最後にタイトルを検討

具体的な活用例

「雑談する」を利用

	聞きたいこと	プロンプト一例
1	顧客の課題を洗い出したい	下記のターゲットの悩みを具体的に教えてください。 # ターゲット 〇〇を解決したい、と検討している顧客 最近〇〇の状態の顧客
2	その顧客が検索するキーワードの洗い出し	そのターゲットが、課題を解決するためにGoogleで検索するとしたらどんなキーワードが考えられますか？



+αでキーワードプランナーやラッコキーワードで検索ニーズの確からしさを確認
そのテーマで記事を作る

具体的な活用例

1. キーワードを検討する (5分)

↓

2. テーマをAIアシスタントに投げる (「ブログの記事のネタをもらう」を利用) (5分)

↓

3. 気になったタイトルがあれば、記事を作成する (案を使った「記事作成」を利用) (5分)
(なければもっとネタをもらう、または違う書き方で聞いてみる)

↓

4. もっと記事に厚みを持たせたい場合は指示する (5分)
(「もっと本文を長くしてもらおう」を利用/大体1.5倍くらい増量)

↓

5. 記事をもとに日本語直したり、コンテンツに深みをもたせる (自社しか持っていない一次情報を付加) (20分)

↓

6. 添削 (「ブログを添削してほしい」を利用) (5分)

↓

7. 念の為、コピペチェックツールで確認 (<https://ccd.cloud/>)、良好であればブログにコピペ (5分)

↓

8. 画像を追加して公開 (5分)

メール支援機能

課題と解決策

課題 1

作成に時間がかかるため 配信頻度が落ちてしまう

作成内容の検討、作成したものの確認など手間がかかるため配信の頻度が落ちてしまう。

課題 2

文面を作成してみたが 添削に時間がかかる

誤字脱字のチェックや、文脈がおかしくないかなどチェックしてからの入稿となると時間がかかる。

課題 3

開封率をあげたいが、 タイトル案が思いつかない

メルマガの開封率が悪いので、引きの強いタイトルを考えたいが、自分1人では思いつかない。

解決策 1

作成作業を代行して 配信頻度UP

テーマを与えるだけで、メルマガの下書きを代行してくれるため、配信頻度を上げることができます。

解決策 2

書いた文面を細部まで しっかりと、瞬時に添削

既に書いた文面の添削を行ってくれるので、見直す時間が大幅に短縮されます。また、人の目では見過ごされがちな箇所もAIは見逃しません。

解決策 3

パッと目を引く タイトル案を提案

ターゲットの目を引く、タイトル案をAIが提案。ABテストも可能。良い壁打ち相手になってくれます。

こんなことができます

タスクを選択

AIアシスタント (β版) フィードバックを送る

メール作成支援 リセット

メール文面を作成して欲しい

メールタイトル案がほしい

メール文面を添削して欲しい

どんなメールを送りますか？

- ページ公開のお知らせ
- サービス紹介資料の配信
- セミナー集客
- セミナーリマインド
- ブログ記事の配信
- ホワイトペーパーの配信
- 導入事例記事の配信
- 展示会のお礼
- 半年以上前に失注した顧客へのアポ依頼

上記選択肢にない場合は、送信したいメールのテーマと特徴を具体的に入力してください例) ○○新機能アップ

質問に答えて 文面を書いてもらう

AIアシスタント (β版) フィードバックを送る

どんな特徴がありますか？

AIアシスタント (メール支援機能) の追加リリースのお知らせ
β版なのでお試しいたい人向けに訴求したい

メールの下書きです

Subject: 【重要】AIアシスタントの追加リリースのお知らせ！

いつもご利用いただき、ありがとうございます！私たちのサービスに、最新の機能が追加されました！今回は、AIアシスタントのβ版をリリースしたことをご報告いたします。

このAIアシスタントは、お客様のビジネスを強力に支援する機能で、迅速で正確な情報収集が可能になります。さらに、β版なので、今ならお試しいただくことができます！

ぜひこの機会に、当社のサービスをもっと活用してください。今後より良いサービスを、皆さまに提供できるよう努めてまいります。

他のことをお願いする

記事の修正指示がある場合は入力してください
例: もっとフランクな文体で書き直して

メールを貼り付け

【機能リリースのお知らせ】AIアシスタントで自動メール

HTML形式本文 マルチパート HTML形式の内容をテキスト形式に変更

ferret One × AI
AIアシスタント (メール作成支援)

- メール文面の作成
- タイトル案の提供 (予定)
- メール文面の添削 (予定)

ferret Oneご利用中のお客様へ
お世話になります。ferret One編集部でございます。
ChatGPTを活用したAIアシスタントに「メール作成」機能が追加されました。メールマガジンの作成工数の軽減により、忙しいマーケティングの業務効率化が期待できます。
現在は、テーマと内容の概要を記録するだけで、自動的にメールの文面を作成する仕組みです。また、今後はメール文面の添削やタイトル案の提供も予定しています。
この機能を使うことで、メール作成にかかる時間を減らし、ダイレクトマーケティングのリーチを広げることが可能になります。
ぜひ、この機会にご活用いただければ幸いです。
※オープンβ版のため、仕様は変更になる可能性があります。あらかじめご了承ください。

引き続き、ferret Oneをよろしく申し上げます。

このメールはferret Oneのサービスにご登録いただいたお客様に配信しています。今後、お知らせメールの配信を希望されない場合はお手数ですが、配信停止の設定をお願いいたします。

このページで何がお送りですか？

ferret One編集部 (ferret-one.com) (ferret-one.com)

BtoBマーケティングでのメールの種類は型がある

作成したコンテンツの配信

ページ公開のお知らせ

サービス資料の配信

ブログ記事の配信

ホワイトペーパーの配信

事例記事の配信

セミナー

セミナーの集客

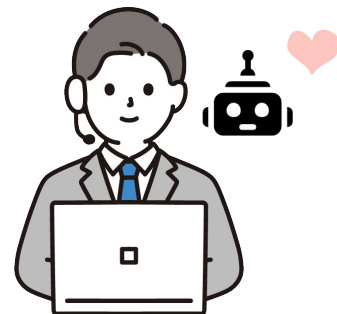
申込者へのリマインド

一度お会いした方へのメール

展示会のお礼

顧客へのアポ依頼

どんなメールを送ったらいいかも
選ぶだけなのでカンタン！



具体的な活用例

1. 送るメールの種類を決めてAIにリクエスト（「メール文面を作成してほしい」を利用）（2分）
↓
2. メールの特徴（ページ名やURLなど）をAIアシスタントに投げる（2分）
＜おすすめ＞ブログ配信なら配信したいブログのURLを投げるだけで作成してくれます！
↓
3. メール文面をコピーしてメール編集画面に貼り付け（「Copy」をクリック）（2分）
↓
4. 作成された下書きメールをもとに自社の情報に変更（日本語は適当でOK）（15分）
↓
5. メールを添削（「メール文面を添削してほしい」を利用）（5分）
↓
6. メールの件名をブラッシュアップ（「メールタイトル案が欲しい」を利用）（5分）
↓
7. 件名を貼り付ける（3分）
↓
8. 必要に応じて画像を追加して配信設定（2分）

AIコンテンツの注意点

参考) GoogleのAIコンテンツ評価

しっかりとオリジナルコンテンツを作っていくことを心がけ、AIはお助けとして利用することが重要

※E-E-A-T (E-A-T) とは、良質なウェブサイトを評価する基準をGoogleが独自に定めたもので、「Experience (経験)」「Expertise (専門性)」「Authoritativeness (権威性)」「Trust (信頼)」

自動化による有用なコンテンツの作成

自動生成コンテンツに関し、Googleは一貫したガイダンスを提示してきました。検索結果のランキング操作を主な目的として、コンテンツ生成に自動化 (AI を含む) を利用することは、[スパムに関する Google のポリシーに違反](#)します。

Google には、検索結果を操作するために使用される自動化への対抗策を講じてきた長年の実績があり、[SpamBrain システム](#)の開発などはその一例です。スパムがどのような方法で生成されようと、Google はこうしたスパム対策の取り組みを続けていきます。

とはいえ、AI 生成のものを含め、自動化を利用したコンテンツすべてがスパムであるとは限らないことを認識することは重要です。自動化はこれまでも長い間、スポーツの試合結果、天気予報、文字起こしなどの有用なコンテンツの生成で使用されてきました。AI は表現と創作の新しいかたちを生み、優れたウェブコンテンツの作成に役立つ重要なツールとなる力を備えています。

これは、新しいテクノロジーで人々の可能性を広げることに Google が常に掲げてきた理念とも一致しています。Google はこのアプローチを責任を持って継続すると同時に、検索を通じて提供する情報の質とコンテンツの全体的な有用性に対する高い基準を維持していきます。

AI 生成によるコンテンツ作成を検討している方へのアドバイス

すでに説明したとおり、コンテンツの作成方法を問わず、Google 検索で成功を収めるには、E-E-A-T の品質を満たす、オリジナルで高品質な、ユーザー第一のコンテンツの制作を意識する必要があります。

E-E-A-T のコンセプトについては、[有用で信頼性の高い、ユーザーを第一に考えたコンテンツの作成ヘルプページ](#)で確認できます。さらに、このページを更新して、「[誰が、どのように、なぜ](#)」という観点からコンテンツ制作の方針を考えるためのガイダンスを追加しました。

AI 生成コンテンツを使用しているかどうかにかかわらず、このような方法でコンテンツを評価することにより、Google 検索システムの評価基準に沿ったコンテンツの作成が可能になります。

スパム行為のある自動生成コンテンツ

スパム行為のある自動生成されたコンテンツ (「自動生成コンテンツ」) とは、独自の価値を生み出したり、十分な価値を付加したりすることのない、プログラムで生成されたコンテンツのことです。ユーザーの役に立つためではなく、検索ランキングを操作することを主な目的として生成されます。自動生成スパムコンテンツの例としては、次のようなものが挙げられます。

- 検索キーワードを含んでいるが、文章としては意味をなさないテキスト
- 自動ツールで翻訳されたテキストが、人間によるチェックや編集を経ずに公開されたもの
- 品質やユーザー エクスペリエンスを考慮せず、自動プロセスで生成されたテキスト
- 類義語生成、言い換え、難読化などの自動化手法を使用して生成されたテキスト
- フィードや検索結果の無断複製によって生成されたテキスト
- 複数のウェブページからのコンテンツを、十分な価値を加えることなくつなぎ合わせたり組み合わせたりしたもの

このようなコンテンツを自分のサイトでホストしている場合は、[こちらの手法](#)を使用して検索対象から除外できます。